



令和2年2月13日

各 位

会 社 名 カワセコンピュータサプライ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 川 瀬 康 平  
(コード 7851 東証第2部)  
問合せ先 最高財務責任者 糸 川 克 秀  
(TEL 06-6222-7474)

## 令和2年3月期通期業績予想の修正及び配当（無配）に関するお知らせ

当社は、令和元年5月14日に公表いたしました令和2年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

また、令和2年3月期の配当について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期業績予想の修正

(1) 令和2年3月期通期 業績予想の修正（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想(A)	百万円 2,850	百万円 △43	百万円 △32	百万円 △40	円 銭 △8 46
今 回 修 正 予 想(B)	2,800	△135	△125	△135	△28 54
増 減 額 (B-A)	△50	△92	△93	△95	
増 減 率 (%)	△1.79	—	—	—	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成31年3月期)	2,799	△70	△60	△80	△17 29

#### (2) 修正の理由

当第3四半期累計期間における個別業績は、働き方改革を背景としたビジネスプロセスアウトソーシング関連業務獲得をターゲットとした新規案件獲得や既存先との取引深耕に注力してまいりましたが、当期の通期業績予想を達成することは困難と判断し、通期業績の見通しを修正致します。

売上高は微減にとどまりましたが、利益は価格競争に晒される中、電子帳票などのIT導入、法制度改革によるペーパーレス化など需要減少を背景に、注力してまいりました情報処理事業の売上が伸びず、一方で、自然災害による操業ロスや原材料、物流コストの上昇、総人件費の増大等により、製造原価の上昇を想定内に圧縮できなかつたことにより当期純利益を修正するに至りました。

改めて、当期を含め来期以降の利益確保が出来るよう、売上内容の検討、原材料等の価格上昇分を十分に吸収できる原価改善、大幅な経費削減等を検討し、利益確保に努めて参ります。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。

## 2. 利益剰余金の配当（無配）について

当社は、令和2年2月12日開催の取締役会において、以下のとおり、令和2年3月31日を基準日とする剰余金の配当について、下記の通り（無配）とすることを決議いたしました。

### （1）配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績
基準日	令和2年3月31日	平成31年3月31日	平成31年3月31日
1株当たり配当金	0円00銭	10円00銭	10円00銭
配当金総額	—	—	47,308,890円
効力発生日	—	—	令和元年6月27日
配当原資	—	—	繰越利益剰余金

### （2）理由

当社は、創業以来、株主への安定配当を維持することを利益還元の基本方針と位置づけ、同時に企業体質強化のため、内部留保を勘案する政策を実施してまいりました。しかしながら当期末配当につきましては、予想に反した業績結果となったことから、誠に遺憾ながら無配とさせていただくこととしました。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### （ご参考）年間配当の内訳

1株当たり配当金			
基準日	第2四半期末	期末	合計
当期実績	00円00銭	00円00銭	00円00銭
（参考）前期実績 （平成31年3月期）	00円00銭	10円00銭	10円00銭

以上